

IV. ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学への教員派遣事業

1. 派遣教員、奈良女子大学研修生

派遣教員	内田 忠賢	奈良女子大学研究院人文科学系人文社会学領域 教授
研修生	樽井 由紀	奈良女子大学人間文化研究科 博士研究員

2. 派遣期間

2012年10月30日(火)～11月2日(金) 4日間

3. 概要

担当教員（内田）の本務との兼ね合いで、時間的に余裕ある滞在ができなかった。3日間（10月31日～11月2日）の講義に終始し、学生を含め、現地の方々との交流等を十分行うことができなかった。担当者として残念であり、また、受講生たちにも申し訳なかった。次回に派遣される際には、もう少し余裕をもって臨みたい。

講義では毎日、午前・午後、かなり詰め込んだ時間割で行ったが、現代の日本文化について、歴史的な意義、社会背景も含め、それなりに講じることができた。派遣先は、担当者（内田・樽井）にとって、昨年度と同じ、人文社会科学大学であったので、講義内容を昨年度とはまったく入れ替えた。受講生の一部は、昨年度から引き続き、受講して下さった学生たちであった。

昨年度は、海外で誤解されがちな日本通史、第二次大戦後の現代日本の姿、そして日本人の衣食住の現状など、日本文化「概論」的な内容であった。しかし、今年度は、担当教員の専門分野や研究対象を全面に出し、現代日本の大衆文化について、映像や資料を駆使し、歴史的・社会的背景から説明した「各論」とした。

一方、同行した補佐役（樽井）は、担当教員による講義の合間を臨機応変に活用し、華道・茶道の体験実習を実施した。彼女の人間的魅力や有能ぶりを発揮し、受講生とフレンドリーな文化交流を行った。

4. 講義内容

4-1 シラバス

■1日目 祝祭から見た現代の日本

1時間目 講義

- 1) よさこい YOSAKOI 系祝祭と現代社会
- 2) 日本社会の現在

2時間目 講義

- 3) よさこい YOSAKOI 系祝祭と地域の姿
- 4) グローバリズムとローカリズム

3時間目 体験学習

奈良女生との交流：カルタ大会（カルタによる体験学習）

■2日目 レジャーから見る高度経済成長期の日本

1時間目 講義

- 1) 経済成長とフラガールの誕生
- 2) 高度経済成長期の産業と社会

2時間目 講義

- 3) 経済成長期におけるレジャーランドの物語
- 4) 高度経済成長期とは何だったか

3時間目 体験学習

茶道体験 *昨年度に続き、樽井先生ご担当

■3日目 怪談と日本の文化・社会

1時間目 講義

- 1) 不思議な空間
- 2) 怪談と現代社会

2時間目 講義

- 3) 江戸時代の妖怪都市
- 4) 怪談と日本文化

3時間目 体験学習

華道体験 *昨年度に続き、樽井先生ご担当

4-2 講義内容

第1日目（10月30日） 戦後日本のレジャー文化

まずは、戦後日本の社会変化を概説した上で、映画『フラガール』を活用しながら、高度経済成長期前後の日本について説明した。そして、日本人にとっての、レジャー文化の

変遷や意義について、レジャーランドを事例として講じた。

第2日目（11月1日） 現代日本の祝祭文化

まずは、戦後日本の文化変容を概説した上で、映画『君が踊る夏』や各種イベントDVDを活用しながら、現代日本の社会と文化について説明した。そして、日本人にとっての、祝祭文化の変遷や意義について、よさこい系イベントを事例として講じた。

また、午後の中だるみになりそうな時間帯を活用し、補佐役が受講生に茶道を指南した。

第3日目（12月2日） 都市伝説の生成

まずは、日本人の民俗世界を概説した上で、映画『ゲゲゲの鬼太郎』を活用しながら、日本人、特に現代人の精神世界について説明した。そして、日本人にとっての、不思議現象の諸相について、都市伝説を事例として講じた。

また、午後の中だるみになりそうな時間帯を活用し、補佐役が受講生に華道を指南した。